令和７年度　第9号　（通刊１７２号）

発行　令和８年３月13日
(地独)青森県産業技術センター水産総合研究所

# 付着生物ラーバ情報

## 出荷時期のユウレイボヤの付着量は前年より少なくなる可能性が考えられます

### １　３月上旬のラーバ出現状況

付着生物ラーバ調査地点は図1、ラーバ出現数は表1、出現数の推移は図2～5のとおりです。

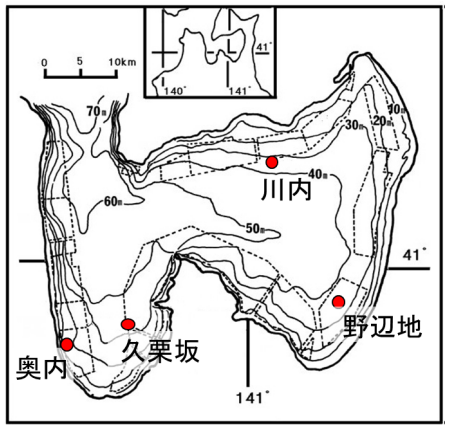

図1　付着生物ラーバ調査地点

**（１）ユウレイボヤラーバ**

全調査地点で出現が見られませんでした(表1、図2)。

**（２）ムラサキイガイラーバ**

奥内で96.7～119.2個/$m^3$、久栗坂で21.7～26.7個体/$m^3$、野辺地で2.3～28.9個/$m^3$、川内で184.4個/$m^3$見られました(表1、図3)。

**（３）キヌマトイガイラーバ**

奥内で20.0～33.3個/$m^3$、久栗坂で12.8～20.6個/$m^3$、野辺地で5.5～43.0個/$m^3$、川内で504.7個/$m^3$見られました（表1、図4）。

**（４）ミネフジツボラーバ**

奥内0.8個/$m^3$、久栗坂で2.2～2.8個/$m^3$、野辺地で1.6個/$m^3$、川内で21.9個/$m^3$見られました（表1、図5）。

表1　令和8年３月上旬のラーバ出現数

単位：個体/$m^3$

| 調査地点 | 調査月日 | ユウレイボヤ | ムラサキイガイ | キヌマトイガイ | ミネフジツボ |
|---|---|---|---|---|---|
| 奥内沖 | 3月2日 | 0.0 | 119.2 | 33.3 | 0.0 |
| | 3月10日 | 0.0 | 96.7 | 20.0 | 0.8 |
| 久栗坂沖 | 3月3日 | 0.0 | 26.7 | 20.6 | 2.2 |
| | 3月10日 | 0.0 | 21.7 | 12.8 | 2.8 |
| 野辺地沖 | 3月3日 | 0.0 | 28.9 | 43.0 | 1.6 |
| | 3月9日 | 0.0 | 2.3 | 5.5 | 0.0 |
| 川内沖 | 3月3日 | 0.0 | 184.4 | 504.7 | 21.9 |

### ２　今後の見込み

**（１）ユウレイボヤ**

10月以降の累積ラーバ出現数は、奥内で4.0個体/$m^3$、久栗坂で4.7個体/$m^3$、野辺地で7.9個体/$m^3$、川内で0.0個体/$m^3$と、全調査地点で前年（奥内：64.2個体/$m^3$、久栗坂：32.5個体/$m^3$、野辺地：17.2個体/$m^3$、川内：7.0個体/$m^3$）よりかなり少ない状況です。

**付着数が多くなる目安である5.0個体/$m^3$を上回る海域では、出荷時期に大量付着し作業効率が低下する可能性**がありますが、現時点の累積ラーバ出現数を見る限り、**付着量は前年より少なくなる可能性**が考えられます。

**（２）ムラサキイガイ**

ラーバが出現していますが、**秋から冬生まれのラーバの養殖篭への付着は少ない**ことが分かっています。

**（３）キヌマトイガイ・ミネフジツボ**

**ラーバの出現が多い海域では、篭等への付着が増加**することが考えられます。

発行元：地方独立行政法人
青森県産業技術センター　水産総合研究所
住　所：青森県東津軽郡平内町大字茂浦字月泊10
TEL：017-755-2155　FAX：017-755-2156

水産総合研究所ホームページURL：https://www.aomori-itc.or.jp/soshiki/sui_sougou/

海ナビ@あおもり 全モバイル端末共用QRコード